

2025 年 3 月 31 日

各位

株式会社富山第一銀行

株式会社篠はらの
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、株式会社篠はら（代表取締役社長 岩田 安弘）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを緩和する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じた SDGs の達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することで SDGs 達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対する KPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要

契 約 締 結 日	2025 年 3 月 31 日
借 入 人	株式会社篠はら
融 資 金 額	100 百万円
資 金 使 途	経常運転資金
モニタリング期間	5 年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 株式会社篠はら

代 表 者	代表取締役社長 岩田 安弘
本 社 所 在 地	富山県富山市柳町 1 丁目 1-7
事 業 内 容	一般住宅屋根工事（瓦、板金、スレート、太陽光）、神社仏閣屋根工事、各種板金・外壁工事、住宅リフォーム各種工事
設 立 年 月	1976 年 3 月

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取 組 内 容	住宅工事を通じた安心・安全、快適な住環境への貢献
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「住居」
関 連 S D G s	
対 応 方 針	・ 地域住民の安心・安全な暮らしを守るために屋根リフォーム工事、内装工事、雪止め工事等の住宅リフォーム実績を積み上げる。 ・ 営業研修の実施や既往先へのコンタクト機会の創出、個人用住宅向け工事の営業体制を強化し、全体工事に占める個人用住宅向け工事の比率を向上させる。
毎年モニタリングする目標と KPI	・ 個人用住宅向けの年間リフォーム工事件数を 2030 年 2 月期までに 220 件とする。 (2024 年 2 月期：143 件) ・ 個人用住宅向け工事の年間成約率を毎年 50%以上とする。 (2024 年 2 月期：39.5%)



株式会社篠はら

株式会社富山第一銀行

代表取締役社長 岩田 安弘 氏

堤町・ビジネスプラザ支店長 河原 史明

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：長瀬

TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：株式会社篠はら



富山の屋根/外壁リフォーム

株式会社 篠はら

2025 年 3 月 31 日

株式会社富山第一銀行

目次

1. はじめに.	2
2. 会社概要.	3
(1) グループ各社の概要	
(2) 経営理念	
(3) グループ沿革	
(4) グループ構成	
(5) セグメント構成	
(6) バリューチェーン	
3. 事業概要.	7
(1) 建築工事部門	
(2) 飲食店・ゴルフサロン部門	
4. 職場環境	11
5. インパクトの特定.	12
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対応する SDG s ゴール	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) 富山県の政策・戦略の確認～とやま未来創生戦略の確認～	
(5) インパクトの特定	
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
6. KPI の設定.	17
7. 管理体制とモニタリング	20
(1) インパクトの管理体制	
(2) モニタリング方法	

1. はじめに

富山第一銀行は、株式会社篠はらに対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、当社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で株式会社篠はらの企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの抑制に向けた取り組みを支援するため、株式会社篠はらに対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	株式会社篠はら
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	2025 年 3 月 31 日から 5 年間
金額	100 百万円
資金使途	経常運転資金

2. 会社概要

(1) グループ各社の概要

社名	株式会社篠はら
代表者	代表取締役社長 岩田 安弘
本社	富山県富山市柳町 1 丁目 1-7
営業所	富山県富山市柳町 1 丁目 1-7
設立年月日	1976 年 3 月 4 日
事業内容	一般住宅屋根工事（瓦、板金、スレート、太陽光） 神社仏閣屋根工事 各種板金・外壁工事 住宅リフォーム各種工事
資本金	20 百万円
売上高	519 百万円（2024 年 2 月期）
従業員	23 名（2025 年 2 月時点）

社名	株式会社 Ponto
代表者	代表取締役社長 岩田 安弘
本社	富山県富山市柳町 1 丁目 1-7
営業所	富山県富山市内幸町 3-18
設立年月日	2016 年 10 月 4 日
事業内容	飲食店 ゴルフサロン
資本金	5 百万円
売上高	8 百万円（2024 年 2 月期）
従業員	6 名

(2) 経営理念

○経営理念

お客様の財産作りの手助けをさせていただくことに喜びを持ち、「我が身を立てんとすればまず人を立てよ」の教えをモットーに相手のことを最優先に考え、末永く社会・お客様から愛される組織作り・運営を行う。

○会社方針

チャレンジ

- ・ 新しいことに挑戦し、うまくいかない時はやり方を考えれば良い
「目標を下げると失敗する 目標を上げると成功する」
「失敗しなかった一日は何もしなかった一日」

次世代リーダーの育成

- ・ 組織の構造を健全かつ堅固なものとし、運営を永続する為には人材の育成は不可欠
- ・ 各自が次のステップに着手し、短期だけでなく中長期的に物事を捉えることが重要

包括的な利益の追求

- ・ 広い観点で物事を捉え、複数の要素が作用すれば相乗効果による予想以上の効果が得られる場合がある
「『できない』と言っていることのほとんどは『たぶん、できないだろう』ではなく『しない』だけ」
「昨日やって失敗したことでも今日はいまうまくいく 状況は1秒後には変わっている」

地域貢献

- ・ 人から求められる人・企業であることが企業発展の原点
- ・ ビジネスを継続・拡大することで地域と winwin の関係を築くことを目指す

○行動方針

社員一人一人が責任ある行動を取り、常にお客様の立場に立ち、ご相談から工事完了まで何事にも全力で対応すること。また目先の利益に囚われず強い克己心を持ち、他人から必要とされる人物になれるよう努力を惜しまないこと。

(3) グループ沿革

1951 年 4 月	富山県富山市北新町 2 丁目 3-6 にて篠原商店として創業
1976 年 3 月	篠原瓦工業株式会社として法人成り
1994 年 3 月	職方養成会社である有限会社リーサックを設立
1995 年 12 月	富山県富山市柳町 1 丁目 1-7 に移転
2005 年 2 月	篠原瓦工業株式会社と有限会社リーサックを統合
2009 年 10 月	板金部を設立
2010 年 4 月	住宅リフォーム部を設立
2016 年 10 月	株式会社 Ponto を設立
2019 年 7 月	株式会社篠はらへ社名変更
2023 年 10 月	Ponto～FOOD & EVENT～オープン

(4) グループ構成

株式会社篠はらにて建築工事業を、関連会社の株式会社 Ponto にて飲食店・ゴルフサロン事業を実施。

株式会社篠はらの主力は屋根工事であり、瓦屋根、板金屋根、スレート屋根に関する新築工事・リフォーム工事を行っている。また、顧客の幅広いニーズに対応するため、屋根工事だけでなく、外壁工事、内装リフォーム、塗装、雨樋、雪止め、エクステリア、解体など幅広い住宅関連サービスに対応している。

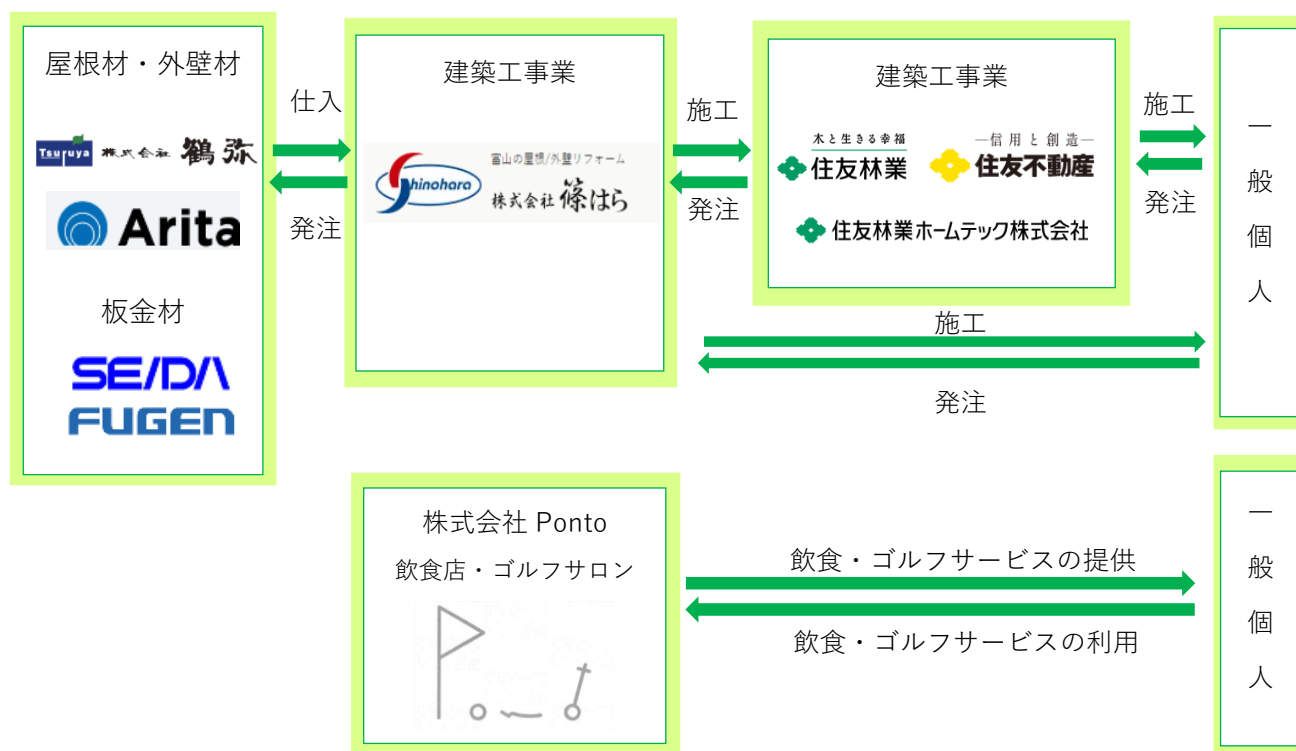
関連会社の株式会社 Ponto では、富山駅前にてゴルフサロンを兼ねた飲食店を運営している。シミュレーションゴルフをしながら飲食ができることが特徴である。

(5) セグメント構成

建築工事業 98.4%、ゴルフサロン 1.1%、飲食店 0.5%となっている。建築工事業の中で、販売先は、企業向けが約 8 割、個人向けが約 2 割を占める。また、対象住宅は新築が 6 割、リフォームが 4 割で、工事内訳は屋根工事が 8 割、外壁その他工事が 2 割を占める。ゴルフサロンと飲食店は 2023 年 10 月より開始しており、今後の売上の増加を目指している。

セグメント種類	割合
建築工事業	98.4%
ゴルフサロン	1.1%
飲食店	0.5%

(6) バリューチェーン



3. 事業概要

当社の建築工事業は屋根工事を中心に、外壁工事、内装リフォーム、塗装、雨樋、雪止め、エクステリア、解体と幅広く住宅の困りごとに対応している。

昭和16年より屋根事業に携わり、80年以上富山の人々の暮らしを守ってきた。長年培ってきた確かな技術と丁寧な仕事、豊かな創造力で顧客に寄り添ってきたことから、80,000件以上の屋根・外壁工事实績があり、地域住民が安心して居住できる家の提供に貢献し続けている。

（1）建築工事部門

① 屋根工事

屋根リフォームにおいては屋根材ごとに適した施工の提案を行っていることが特徴である。屋根は台風の影響で瓦が剥がれてしまったり、割れたり、ずれてしまうものを放置していると雨漏りや屋根の金属部分の腐食やカビの原因となる。また、夏場の強い日差しは塗装の劣化に繋がる。当社ではこのような悩みを解決している。また、施工の際に「屋根のイメージをガラッと変えたい」

「瓦は再利用して下地だけを修理したい」といった要望にも対応。施工完了前にはドローンを使用した現地調査により屋根の状況を丁寧に確認し、施工完了後には、屋根全体の状態をお客様にも確認してもらい満足度の向上に繋げている。

瓦工事においては、既存の屋根材を一旦取り外して、下地の補強や補修、防水性を高めた後、再び既存の屋根材を設置する葺き直し工事を実施。また、既存の屋根材を撤去して、新しい屋根材を設置する葺き替え工事も行っている。部分工事として、棟瓦のズレの改修工事や、破損や劣化した瓦1枚や一部分だけ交換する工事も行っている。

板金屋根においては、板金のめくれや劣化などのトラブルを解決している。古い屋根に新しい屋根を被せるカバー工法や、屋根材を新しくする葺き替え工事を実施。棟の劣化が目立つ場合は棟交換を行っている。屋根の塗装や、瓦屋根から板金屋根に葺き替えるなどの工事も可能。

スレート屋根においては、雨漏りの原因になるヒビ割れやカケに対して早めの修理が求められる。当社ではカバー工法や葺き替え工事、塗装を行っている。

葺き直し工事では、既存の瓦を再利用することで外観の維持、下地の補強や補修による断熱性や耐久性、防水性の向上効果がある。葺き替え工事は新しい屋根材を設置するため、断熱性が向上。カバー工法では、既存の屋根を新しい屋根材で覆うことで層ができ、断熱性が向上する。屋根工事によって、断熱性の向上による冷暖房のエネルギー使用量抑制や、雨音の低減効果が図られることで、住環境の良質化に貢献している。



葺き直し工事



棟工事



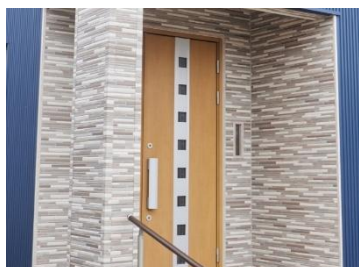
瓦割れ交換

② 外壁工事

外壁材の表面には塗装が施されているが、日常的に雨風や紫外線に晒されることで劣化が進行し、外壁が剥がれたり、塗装が浮いたり、コーキングが剥がれたりする。地震や紫外線によって表面にひび割れが生じた場合は、雨漏りの原因にもなっている。

当社では、既存の外壁材の上に新たに外壁材を張る重ね張り工事、既存の外壁を撤去して新たに外壁材を張る張り替え工事、既存の外壁に塗装する塗り替え工事、コーキング工事を実施してい

る。外壁工事を行うことで、雨風や紫外線に晒され進行する外壁劣化を止め、住宅寿命を長くすることを可能にしている。また、外壁を替えることや重ねること、塗装することで遮熱性や防水性が向上する。また、当社の従業員は建築板金技能士、建築施工管理技士、足場の組立て等作業主任技能士などの有資格者が多く、確かな技術と知識を保有していることが強みである。



金属系サイディング



板金



コーキング工事

③ 内装リフォーム

壁紙・クロスの貼り替え、床材の貼り替え、天井の貼り替え、間取りの変更、水回りの交換、窓やサッシの交換を行っている。「和式から洋式のトイレに替えたい」「キッチンが壁に向いているから、対面キッチンにしたい」「雨漏りの痕が気になるから、壁紙を替えたい」「間仕切りを取り付けて、部屋を2つに分けたい」「和室を洋室に変えたい」など、部分的なものから全面的な改修まで、様々な内装リフォームに対応。家族の生活様式の変化や経年劣化による不便を取り除いている。動線の変更や、段差のスロープ化などにより、安心安全で快適な住宅を提供している。



④ 塗装

屋根塗装と外壁塗装を行っている。塗装は、日々の雨風や紫外線から住まいを保護する役割を担っている。メンテナンスを怠ると劣化した箇所から雨漏りや破損を起こして、住まい自体の寿命を短くしてしまう。塗装は破風板・鼻隠しなどの付帯部にも施されており、劣化したら塗り替えを行う必要がある。当社では、「防水性を高くしたい」、「錆びにくくしたい」などの細かい要望にも対応し、アクリル、ウレタン、シリコン、フッ素、無機など用途に適した塗料を提案している。外壁塗装においては、美観の保持だけでなく、耐久性の向上、断熱性・遮断性の向上、防汚性の向上といった役割を果たし、住まいを長持ちさせる効果を生んでいる。



屋根塗装



外壁塗装

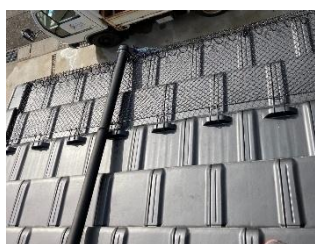
⑤ 雨樋

雨樋の修理や交換を行っている。雨樋は雨水を集めて適切に排水を行うことを目的としているが、雨樋に不具合が起きると、外壁や家の基礎が少しずつ傷んだり、雨漏りが起きたり、雨の日に雨水が溢れるため騒音の原因となる。



⑥ 雪止め

雪止めを設置することで、落雪トラブルを解決している。富山県では冬場の積雪が多く、近所の敷地内に雪が落ちそうな場合や、自宅の玄関前の落雪防止でのニーズが高い。雪止瓦や雪止め金具の増設、雪止めネットの設置により対応。雪止めネットは、製造の難しい20mm目という細かく厚みのあるひし形の金網でできており、降り積もった雪がこの金網にしっかりと噛み込むことで、強力な雪止め効果を発揮。さまざまな屋根（日本瓦・洋瓦・鋼板・スレート（カラーベスト））に取付けることが可能。雪トラブルを防ぐことで、近隣住民との良好な関係性の構築や、家族の安心を守っている。



⑦ エクステリア

ブロック塀の改修などニーズに合わせて外構プランを提案。



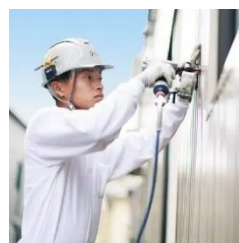
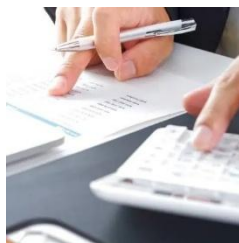
⑧ 解体

トイレや洗面台、バスなどの水回り、キッチンの付け替え、間取りの変更、車庫の設置、外構の撤去などのリフォームでは、家の構造部分などそのまま利用できる場所は損傷を与えないよう細心の注意を払いながら、必要な範囲の解体と撤去作業を実施。近隣住宅への安全性の配慮に細心の注意を払いながら行っている。



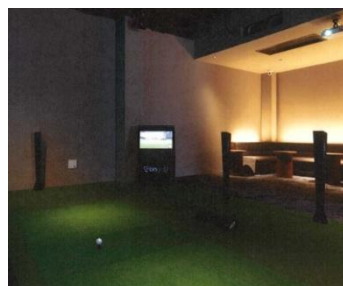
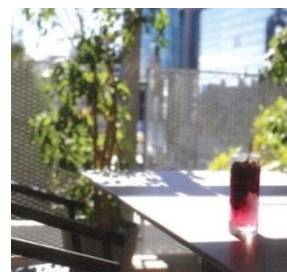
⑨ 無料屋根外壁・雨漏り診断

電話もしくはメールにて問い合わせ受付。専門資格を有した社員が現地訪問し無料点検する。原因をつきとめ、部分的に直したいのか、全体をどうしたいのかなど希望やこだわり、予算を聞いた上で、施工内容の提案と見積を実施。施工内容確定後、作業、補修、修理し、最終点検にて問題がなければ施工完了となる。



(2) 飲食店・ゴルフサロン部門

関連会社である株式会社 Ponto では、街と人々が寄り添う場所を提供したいとの思いから飲食店兼ゴルフサロンである「Ponto」を 2023 年 10 月に富山市内でオープン。昼 11 時から営業しており昼飲みが可能である。また、2 階が飲食店、3 階が飲食しながらシミュレーションゴルフができる施設となっていることが特徴である。シミュレーションゴルフはレンタルクラブも用意しており、気軽にゴルフを楽しむことができる。2 階では本格的なパターフィッティングを行えるパタートレーニングマシンがあり、飲食しながらゴルフ未経験者もゴルフを気軽に楽しめる場を提供している。また、夏場は屋上を開放し、涼みながら飲食を楽しむことが可能。2 階は壁がなくオープンスペースとなっているため、貸し切りで最大 80 名収容可能であることから、懇親会や打ち上げ、イベントにも利用されており、地域のかつくりりに貢献している。



4. 職場環境

当社では、社員全員が働きやすい環境をつくることによって、全ての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のような取り組みを行っている。

○休業制度

育児・介護休業法に基づく育児休業や、産前産後休業などの制度を導入し、従業員への周知や利用を促す組織作りを実施。令和5年4月から社員の実態調査を実施し、令和6年5月より制度を導入。管理職を含めた全社員へ説明し、ライフプランに合わせた取得を呼びかけている。現在対象者1名が育児休業を取得中であり取得率は100%となっている。

○仕事環境

所定外労働時間の削減を実施。令和5年4月から社員への実態調査を実施。令和6年5月に仕事と生活のバランス改善のため、所定外労働時間削減をテーマに業務の見直し等の協議を行い、業務見直し・業務効率化に取り組んでおり、時間外労働削減に向けての呼びかけを行っている。

○勉強会の実施

従業員のスキル向上のために研修制度の充実を図っている。基本的なマナー研修や、メーカーを招いて営業担当者が商品説明を聞く営業の勉強会、職人向けの技術勉強会や、協力業者への勉強会を開催している。

住まう人の想いを叶えるためには、幅広い現場経験と日常的な学びが欠かせないとの思いから勉強に励んでいる。



○資格取得・講習受講支援、リスキリング機会の提供

会社指定の資格は勤務中の勉強も認めており、資格取得に係る費用は全額助成している。自己啓発における資格も半額助成しており、資格取得に向けた支援を行っている。

瓦葺き技能士1級が4名、瓦葺き技能士2級が2名、建築板金技能士1級が1名、建築板金技能士2級が2名、2級建築施工管理技士が1名、瓦屋根工事技士が1名、瓦屋根診断技士が1名、職長・安全衛生責任者が11名、足場の組立等作業主任技士が7名、足場の組立特別教育2名、玉掛け技能講習11名、巻上機運転特別講習9名、丸のこ等取扱い講習11名等と有資格者が在籍する。

また、現在リスキリングで2名が学んでおり、プログラミング等IT技術の勉強を行っている。

○レクリエーション機会の創出

毎年会社でゴルフコンペを開催。また、リレーマラソンなどのイベントにも参加している。ゴルフコンペには協力業者も参加しており、他にも従業員と協力業者が加入しているサークル活動も活発に行われている。従業員同士の交流や、役員と従業員のコミュニケーションの場、協力業者との関係性構築の場となっている。



○ユニフォームの作成

従業員にユニフォームに対する意見を収集しデザイナーとの打ち合わせを重ね、昨年11月にユニフォームを作成。事務、営業、職人等の全従業員が着用しており、一体感を持って仕事に取り組んでいる。



5. インパクトの特定

(1) インパクトレーダーによるマッピング

当社のバリューチェーン分析の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブ・インパクト及びネガティブ・インパクトの分布を調査。

当社の主要事業は、国際産業標準分類に則り、「建築物仕上げ・完成業（4330）」「その他の専門工事業（4390）」を適用。当社グループが他に実施している事業として「飲料提供サービス業（5630）」「スポーツ施設運営業（9311）」を適用とするが、現段階ではその事業規模は小さく、詳細分析の対象としない。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

		川上の事業		当社の事業				川下の事業	
国際産業標準分類		【4663】		4330		4390		4100	
		建築材料、金物類及び暖房設備器具卸売業		建築物仕上げ・完成業		その他の専門工事業		建築工事業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）								
	食糧								
	住居	◆		◆◆		◆◆		◆◆	
	健康・衛生	◆						◆	◆
	教育								
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー	◆						◆	◆
	移動手段								
	情報								
	文化・伝統								◆
	人格と人の安全保障								◆
	正義・公正								
	強固な制度・平和・安定								
環境	水（質）		◆						◆
	大気		◆						◆
	土壌								◆
	生物多様性と生態系サービス		◆						◆
	資源効率・安全性								◆
	気候		◆						◆
	廃棄物		◆		◆		◆		◆◆
経済	包括的で健全な経済							◆	
	経済収束							◆	

インパクトマッピングにおいて、当社主要事業に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「住居」、一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーではポジティブで「雇用」、ネガティブで「雇用」「廃棄物」が挙げられた。

当社は、富山県富山市を中心に建築工事業を展開。「夢を叶えるリフォーム」の提供により地域の安心安全な暮らしを創出する理念と目的を持ち、建築工事に関する幅広いサービスを行っている。自社にて有資格者の職人を多数抱えているため「相談から施工までの一貫対応」かつ「省エネ性能の高い住宅リフォーム」の提供を可能にしている。

屋根・外壁工事においては、遮熱塗装や断熱材施工により、室内温度の安定化が図られ断熱性、耐久性が向上する。下地の補修・補強により防水性も向上する。内装工事においては断熱性だけでなく、間取り変更による動線の変更や段差をスロープにすることで安心安全な住宅となり、快適性が向上する。省エネ機能と快適性を備えた住宅設計により「住居」でポジティブ・インパクトを創出・拡大させている。

雇用面については安定雇用による生計へのポジティブな影響がある一方で、労働者の健康面等のネガティブな影響がある。しかしながら、当社では、従業員一人一人が主役となれる会社を目指して、研修体制の充実に向けて積極的な取り組みが見られる。研修体制が整っており、基本的なマナー研修、営業・技術職それぞれの勉強会、協力業者との勉強会、技術面での外部リスクリングなどを行っている。資格取得においても、業務に係る資格取得支援だけでなく、自己啓発の資格取得においても支援を行っている。従業員のスキルアップ、顧客サービスの向上に伴い、安定的な顧客基盤を構築し、当社が地域で信頼される存在になるという「雇用」のポジティブ・インパクトの拡大を生んでいる。

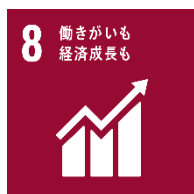
また、当社は働きやすい職場環境づくり（時間外の削減）や、福利厚生の充実（育児介護休暇取得）を行っている。加えて、職場環境調査の実施や、協力会社も含めたゴルフコンペ、サークル活動など各種レクリエーション機会の創出により、経営と従業員間のコミュニケーションを充実させており、職場環境改善を図ることによって、「雇用」のネガティブ・インパクトの抑制に寄与している。

環境面の取り組みにおいては、地域住民の安心した暮らしの実現に向け、廃棄物の分別管理の徹底を行っている。また、温室効果ガス排出量削減に向けた体制作りを進めており、排出量の可視化や削減計画の作成、実績・施策の管理を計画している。以上の取り組みにより「廃棄物」およびマッピングには該当しないものの「気候」のネガティブ・インパクトの抑制を実現させている。

川上事業・川下事業で当社事業が与えるインパクトは限定的と考えられるため、分析を省略する。

(2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール

当社の売上は日本における事業であり、日本の SDGs ダッシュボードから同社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高い SDGs のゴールは下記となる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残る項目が「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs のゴール 3 項目のうち、1 項目が大きな課題が残る、2 項目が重要な課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が 3 項目全て該当していることから、日本における当社グループのインパクトは重要度が高いと判断する。



出典：SDGs ダッシュボード

(4) 富山県の政策・戦略の確認～とやま未来創生戦略の確認～

富山県は、約 4,248 km²の広さを有し、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。水深 1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から 3,000m級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かで多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業など各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を創造するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、基本目標 1. 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備、基本目標 2. 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進、基本目標 3. 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上、基本目標 4. 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりを掲げている。

基本目標 4 の活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりにおける、③持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくりでは、豊かで快適な環境づくりと安全・安心の確保を掲げており、当社が行う省エネ性を伴った住宅リフォームの提供は、富山県が目指す地域の環境づくりに合致しており、富山県の目指す「持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり」に大きく貢献している。

また、当社の職場環境の面では、育児休業の促進、長時間労働の是正や、男性の育児参画の促進を行っており、これらは富山県が基本目標 1 の中に掲げる少子化対策の推進や、働き方改革に寄与する取り組みといえる。

基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備 ① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進 (ア) 結婚・妊娠・出産支援 ○結婚を希望する男女の出会いの場の提供 ○ライフプラン教育の充実 ○若者・女性を中心とした移住・Uターンへの促進 ○妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備 (イ) 家庭・地域における子育て支援 ○多様な保育・子育て支援サービスの充実 ○子育て支援人材の育成 ○子育て家庭の経済的負担の軽減 (ウ) 職場における子育て支援 ○仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進 ② 働き方改革を進め、ゆとりある生活の実現による少子化対策の推進 (ア) 長時間労働の是正や柔軟な働き方の推進など 働き方改革の推進 (イ) 男性の家事・育児参画の促進	基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進 ① 産業・地域経済の活性化 (ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成 (イ) 中小・小規模企業の振興 (ウ) 企業立地等の促進 (エ) 農林水産業の振興 (オ) 環境・エネルギー産業の育成 ② 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり (ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進 (イ) 高等教育機関の魅力向上 (ウ) 地域の魅力創生 ③ 観光の振興 (ア) 選ばれ続ける観光地づくり (イ) 富山のブランド力アップ ④ 移住・定住の環境づくり、関係人口の創出・拡大等 (ア) 移住・定住の環境づくり (イ) 関係人口の創出・拡大	基本目標 3 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上 ① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり (ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり (イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成 (ウ) 女性の再就職支援 ② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現 (ア) 元気な高齢者が活躍するための支援 (イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出 ③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり (ア) 外国人材活躍の促進 (イ) 多文化共生の地域づくり ④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上 (ア) 多様な人材の確保 (イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成 (ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上 (エ) 産業の高度化・高付加価値化の支援を通じた労働生産性の向上	基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり ① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり (ア) 陸・海・空の交通基盤整備 (イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり ② 人生100年時代を見据えた人づくり (ア) 健康寿命の延伸 (イ) 医療や福祉の充実 (ウ) 教育力の向上 (エ) 未来を拓く人材育成 (オ) リカレント教育の推進 (カ) 生涯にわたる学びの推進 (キ) 「心の元氣」を醸成する文化の振興 ③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり (ア) 豊かで快適な環境づくり (イ) 安全・安心の確保 ④ 豊かで魅力ある中山間地域の実現 (ア) 地域コミュニティの活性化 (イ) 地域経済の活性化 (ウ) 住民生活に必要な不可欠サービスの確保
---	--	--	---

富山県 HP「とやま未来創生戦略」より抜粋

(5) インパクトの特定

- 住宅工事を通じた安心・安全、快適な住環境への貢献
- 環境負荷低減への取り組みの強化
- 全従業員がより働きがいを持てる職場環境の提供

(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや富山県のとやま未来創生戦略のニーズや方向性等を踏まえて、同社と特に関連性の高いインパクトを整理した。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針の方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「当社の事業活動を通じた地域経済・社会への貢献」「環境負荷低減への取り組みの強化」「全従業員がより働きがいを持てる職場環境の提供」である。富山第一銀行では、サステナビリティ方針の中で、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「当社の事業活動を通じた地域経済・社会への貢献」では、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」という観点で、「環境負荷低減への取り組みの強化」では「3.環境保全」という観点で、「全従業員がより働きがいを持てる職場環境の提供」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じて SDGs 達成に向けた取り組みの支援を目指す。

6. KPI の設定

住宅工事を通じた安心・安全、快適な住環境への貢献

自社にて瓦葺き技能士や建築板金技能士、建築施工管理技士、瓦屋根工事技士、瓦屋根診断士などの有資格者の職人を多数抱えているため住宅リフォーム工事において「相談から施工までの一貫対応」かつ「省エネ性能の高い住宅リフォーム」を可能にしている。

屋根工事・外壁工事においては断熱性や耐久性、防水性の向上を可能にしており、内装工事においては、間取り変更による動線の改善や、バリアフリー化で安全性、快適性の向上を可能にしている。また、雪の多い富山県での暮らしをサポートするために積雪対策も兼ねた屋根工事は居住者の安心に繋がるものである。

住宅リフォームにおける幅広い工事ができるのが当社の特徴である。今後は、個人向けの顧客に対して幅広い提案を行うために営業向け研修の実施や、既往先へのコンタクト機会の創出などを通じて地域住民へ安心・安全で快適な住環境の提供に貢献していく。

項目	内容
インパクトの種類	・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「住居」
関連する SDGs	
対応方針	・ 地域住民の安心・安全な暮らしを守るために屋根リフォーム工事、内装工事、雪止め工事等の住宅リフォーム実績を積み上げる。 ・ 営業研修の実施や既往先へのコンタクト機会の創出等、個人用住宅向け工事の営業体制を強化し、全体工事に占める個人用住宅向け工事の比率を向上させる。
KPI	・ 個人用住宅向けの年間リフォーム工事件数を 2030 年 2 月期までに 220 件とする。 (2024 年 2 月期：143 件) ・ 個人用住宅向け工事の年間成約率を毎年 50%以上とする。 (2024 年 2 月期：39.5%)

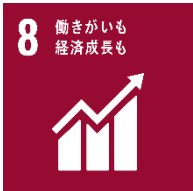
環境負荷低減への取り組みの強化

工事を通じた環境への貢献だけでなく、環境に配慮した事業活動を展開していく。まずは、温室効果ガスの可視化に取り組む。以降は、環境配慮型車両への入替や LED への更新などを通じて温室効果ガス排出量を削減していく。

項目	内容
インパクトの種類	・ 環境面におけるネガティブ・インパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「気候」
関連する SDGs	
対応方針	・ 温室効果ガス排出量の可視化と削減
KPI	・ 2026 年 2 月期までに温室効果ガス排出量を可視化する。 ・ 2027 年 2 月期以降は、毎年前期比 4.2%以上の削減を進める。

全従業員がより働きがいを持てる職場環境の提供

当社の従業員が、引き続き働きがいや働きやすさを感じることができるよう、従業員のスキルアップに繋がる研修機会創出に注力し、従業員のモチベーションアップに繋げる。また社内コミュニケーションの充実と組織力強化、育児休業支援も推進し、働きやすい職場環境の提供に努めるとともに新たな雇用を創出していく。

項目	内容
インパクトの種類	・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	・ 社内研修機会の充実 ・ 職場環境整備による雇用の拡大 ・ 育児休業取得の推進
KPI	・ 2030 年 2 月期までに年間社内研修（※）の実施回数を 15 回以上とする （2024 年 2 月期：10 回） ※マナー研修、営業の勉強会、技術勉強会、協力業者との勉強会等 ・ 2030 年 2 月期までに従業員数を 28 名とする。 （2024 年 2 月期：23 名） ・ 育児休業取得率 100%の維持 （2024 年 2 月期：対象者 1 名、取得者 1 名）

7. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役社長の岩田安弘様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、池田ゆかり様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役社長 岩田 安弘
管理責任者	池田ゆかり
管理部署	営業部

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が株式会社篠はらから提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871